矢 板 市 財 政 状 況

令和４年９月３０日現在

人　　口	３１，０３５　人
世　帯　数	１３，２７０　世帯
面　　積	１７０．４６　㎢
市 有 土 地	４，１５５，８２３　㎡
市 有 建 物	１４６，９２３　㎡

ま　え　が　き

「アフターコロナ　矢板新時代開拓予算」と銘打つ今年度予算は、感染拡大防止と社会経済活動の本格再開に向けた取組を推進し、コロナ禍を克服した上で新時代を開拓するための新たな取組を強力に推し進めるものとなっています。

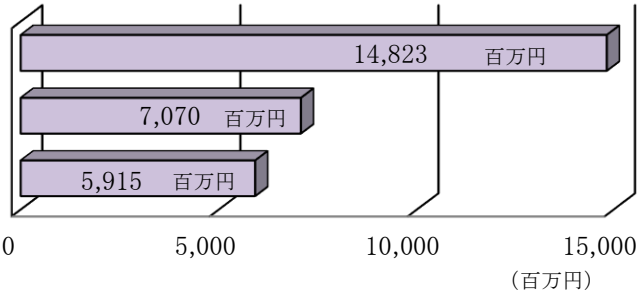
市政運営の根幹であり、私たちの日常生活に密接な「市の財政」について、皆様にご理解とご協力を賜りたく、令和４年度上半期の予算執行状況等及び令和３年度決算の状況についてお知らせします。

1. 令和4年度歳入歳出予算の執行状況　（令和4年9月30日現在）

(1)一 般 会 計

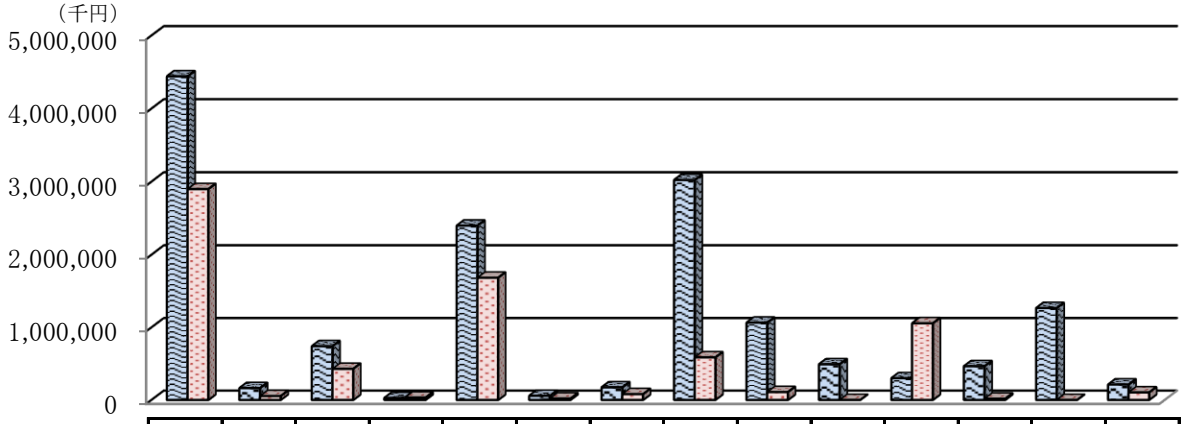
①歳 入 歳 出 合 計

	金　額	執 行 率
予 算 額	14,823 百万円	
収 入 済 額	7,070 百万円	47.7%
支 出 済 額	5,915 百万円	39.9%



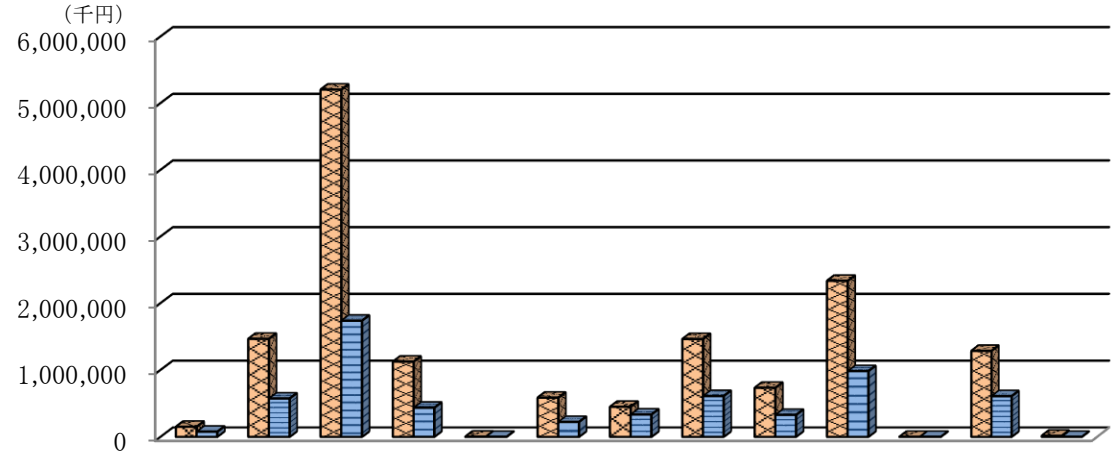
②費 目 別 歳 入 歳 出

(a)歳　入



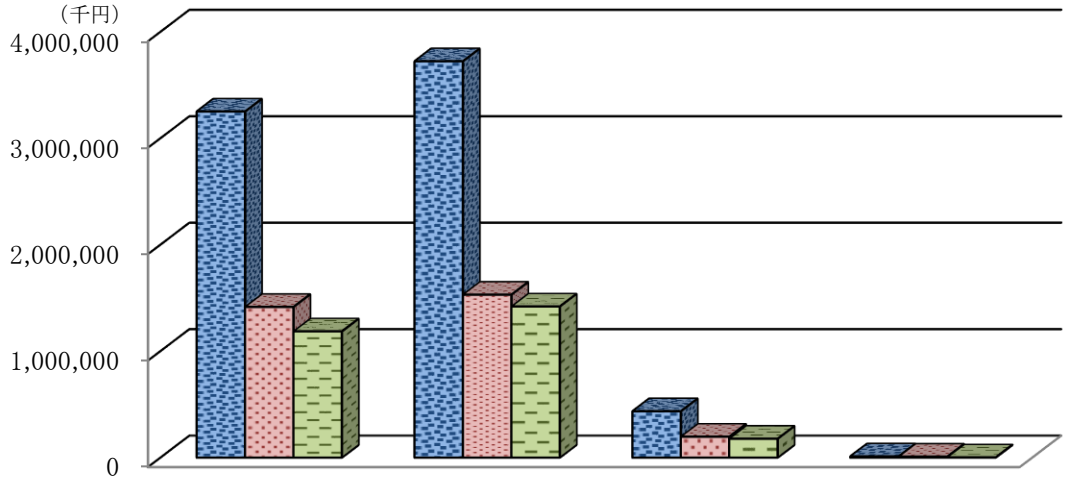
（千円）	市税	地方譲与税	地方消費税交付金	地方特例交付金	地方交付税	分担金及び負担金	使用料及び手数料	国庫支出金	県支出金	繰入金	繰越金	諸収入	市債	その他
予 算 額（ 左 ）	4,441,818	163,000	741,000	26,000	2,398,000	56,374	173,189	3,022,267	1,065,183	491,835	299,808	464,646	1,267,100	212,475
収 入 済 額（ 右 ）	2,898,058	53,673	428,690	32,727	1,684,266	19,144	80,194	587,459	107,813	0	1,057,124	16,809	0	104,018

(b)歳　出



（千円）	議会費	総務費	民生費	衛生費	労働費	農林水産業費	商工費	土木費	消防費	教育費	災害復旧費	公債費	その他
予 算 額（ 左 ）	150,609	1,466,953	5,203,601	1,125,959	2,521	586,818	449,323	1,464,300	734,456	2,335,526	6	1,286,984	15,639
支 出 済 額（ 右 ）	77,120	574,394	1,738,443	435,992	88	223,319	334,416	610,502	328,583	983,473	0	608,821	168

(2)特 別 会 計



(千円)	介護保険		国民健康保険		後期高齢者医療		ハッピーハイランド矢板排水処理事業	
	金額	執行率	金額	執行率	金額	執行率	金額	執行率
予算額(左)	3,251,736		3,724,228		435,700		11,500	
収入済額(中)	1,415,556	43.5%	1,531,009	41.1%	196,131	45.0%	9,001	78.3%
支出済額(右)	1,186,092	36.5%	1,419,859	38.1%	177,316	40.7%	2,055	17.9%

2. 令和4年度地方公営企業の経理の状況 (令和4年9月30日現在)

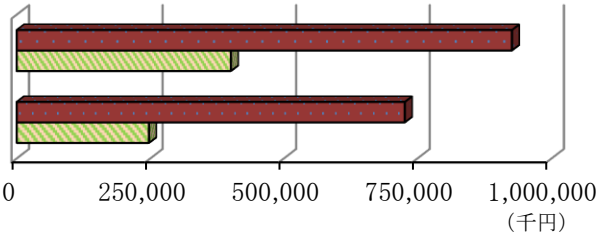
(1) 水 道 事 業

① 水 道 事 業 の 概 要

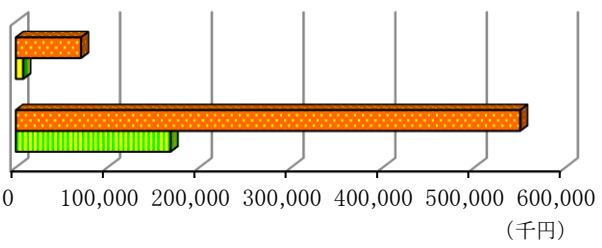
	令和4年度	(1日あたり)
配水量	2,256,103 m^3	12,328 m^3
有収水量	1,742,034 m^3	9,519 m^3
給水戸数	13,204 戸	
給水人口	30,869 人	

② 水 道 事 業 の 経 理 の 状 況

(千円)		金額	執行率
収益的収支	収入予算(上)	926,000	
	収入済額(下)	400,761	43.3%
	支出予算(上)	726,200	
	支出済額(下)	247,303	34.1%



(千円)		金額	執行率
資本的収支	収入予算(上)	71,000	
	収入済額(下)	7,931	11.2%
	支出予算(上)	550,140	
	支出済額(下)	168,477	30.6%



(2) 下 水 道 事 業

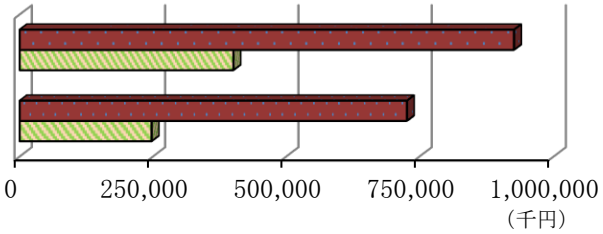
① 下 水 道 事 業 の 概 要

	令 和 4 年 度	（１日あたり）
処 理 水 量	1,111,845 ㎥	6,076 ㎥
有 収 水 量	701,320 ㎥	3,832 ㎥
水洗化戸数	4,243 戸	
水洗化人口	10,268 人	

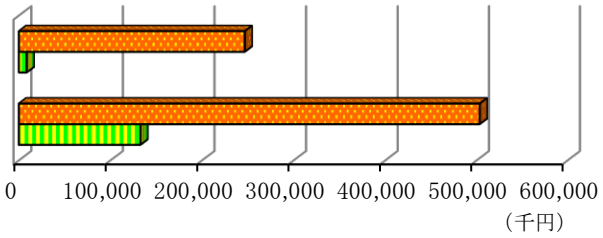
※ 水洗化戸数及び水洗化人口は令和3年度末現在(コリーナ矢板除く)。

② 下 水 道 事 業 の 経 理 の 状 況

	(千円)	金 額	執 行 率
収益的収支	収入予算(上)	892,800	
	収入済額(下)	413,559	46.3%
	支出予算(上)	681,700	
	支出済額(下)	106,099	15.6%



	(千円)	金 額	執 行 率
資本的収支	収入予算(上)	246,600	
	収入済額(下)	8,449	3.4%
	支出予算(上)	503,400	
	支出済額(下)	132,723	26.4%



3. 市債、一時借入金及び基金の状況 （令和4年9月30日現在）

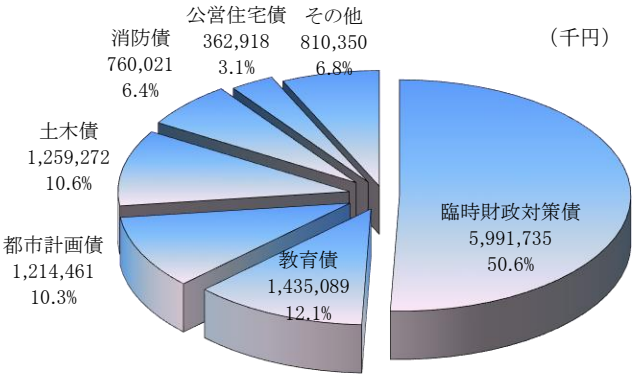
(1)市 債 の 残 高

① 一 般 会 計

(a)目 的 別

（千円）

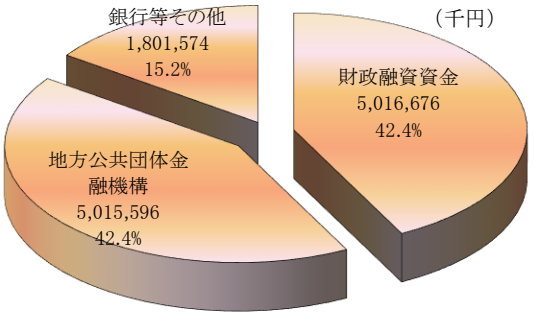
	残 高
臨時財政対策債	5,991,735
教育債	1,435,089
都市計画債	1,214,461
土木債	1,259,272
消防債	760,021
公営住宅債	362,918
その他	810,350
合 計	11,833,846



(b)借 入 先 別

（千円）

	残 高
財政融資資金	5,016,676
地方公共団体金融機構	5,015,596
銀行等その他	1,801,574
合 計	11,833,846

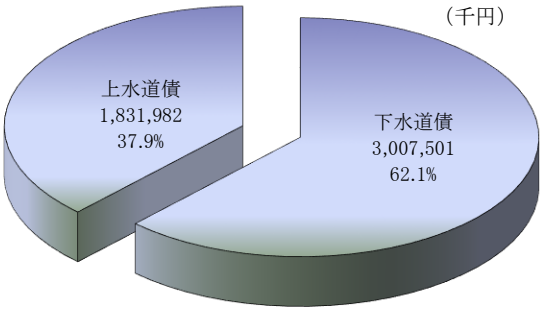


② 地 方 公 営 企 業

(a)目 的 別

（千円）

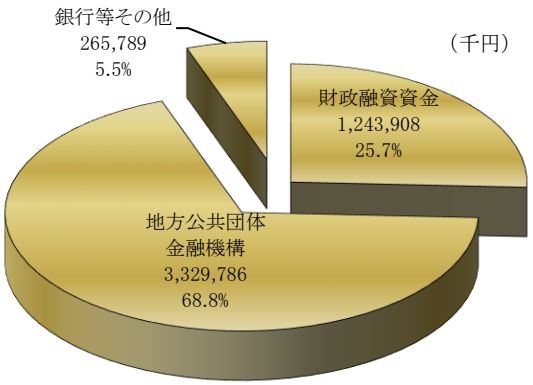
	残 高
下水道債	3,007,501
上水道債	1,831,982
合 計	4,839,483



(b)借 入 先 別

（千円）

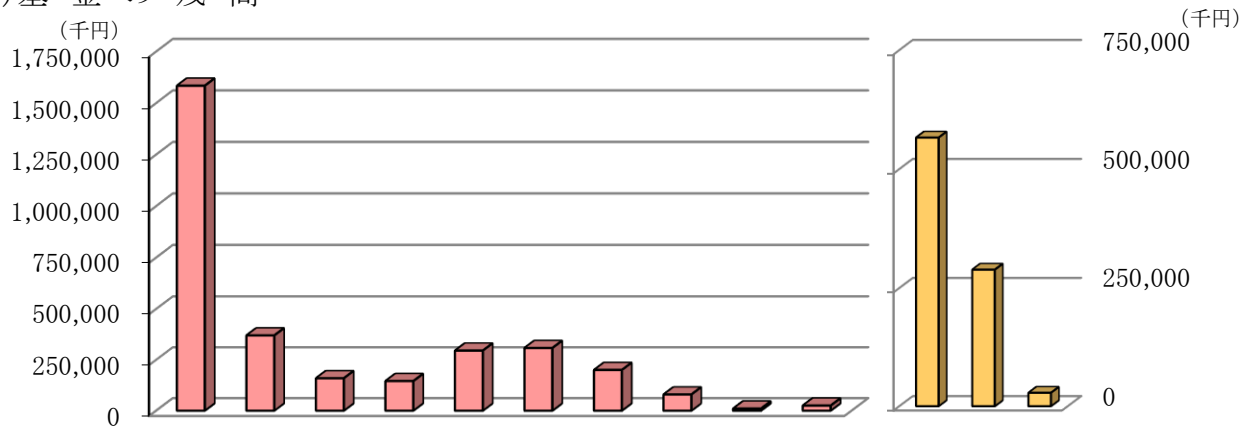
	残 高
財政融資資金	1,243,908
地方公共団体金融機構	3,329,786
銀行等その他	265,789
合 計	4,839,483



(2)一 時 借 入 金 の 残 高

一時借入金はありません。

(3)基 金 の 残 高

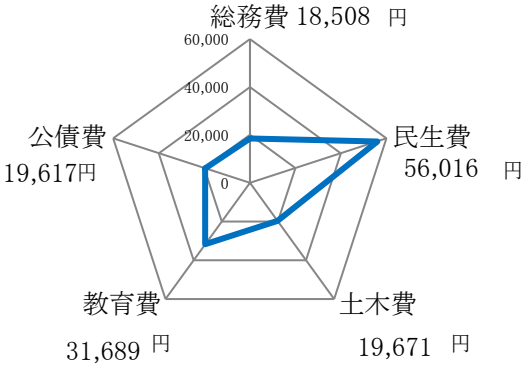


	一般会計										特別会計		
（千円）	財政調整基金	減債基金	交通施設整備基金	土地開発基金	公共施設整備基金	ふるさと納税基金	庁舎等整備基金	子ども未来基金	未来の森づくり基金	その他基金	介護保険財政調整基金	国民健康保険財政調整基金	その他基金
基 金 残 高	1,584,303	369,783	159,422	145,501	295,270	308,072	200,178	79,505	10,468	25,010	566,198	288,708	28,357

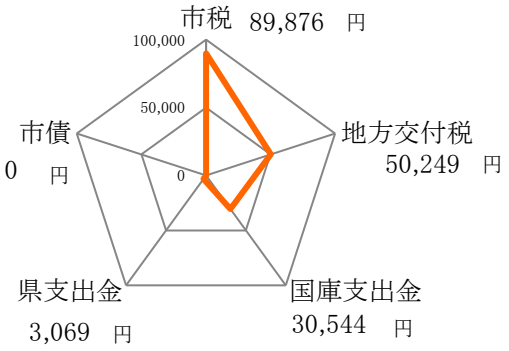
4. 住民の負担等の状況 （令和4年9月30日現在）

(1)住 民 一 人 当 た り の 負 担 等 の 状 況

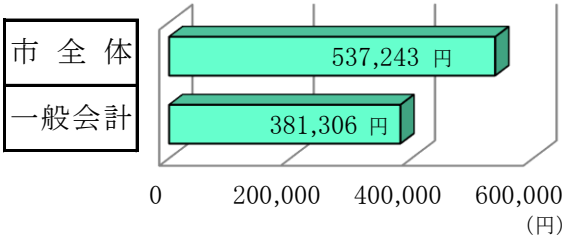
①主な歳出費目



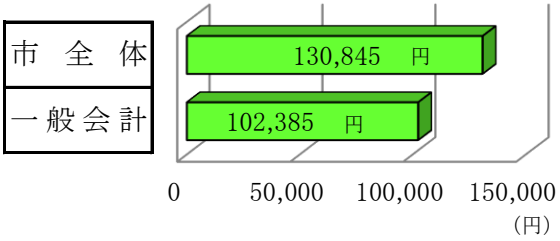
②主な歳入費目



③市債残高



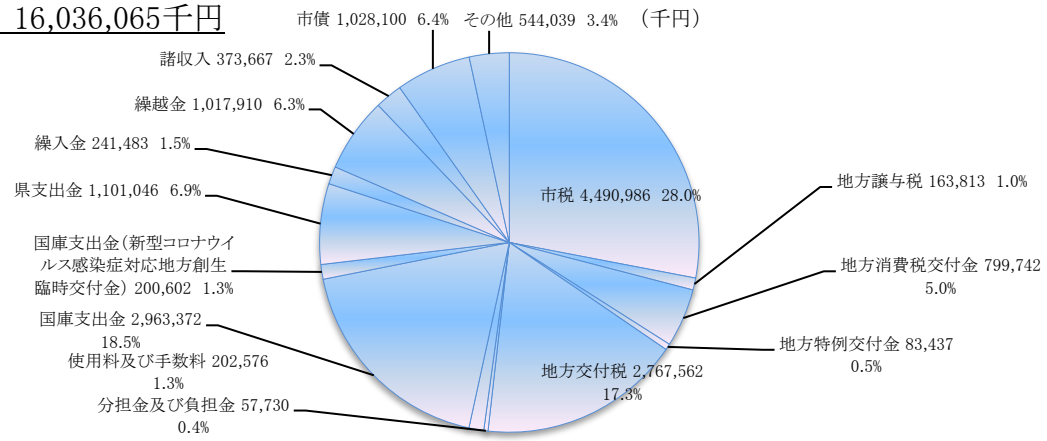
④基金残高



5. 令和3年度の決算の状況

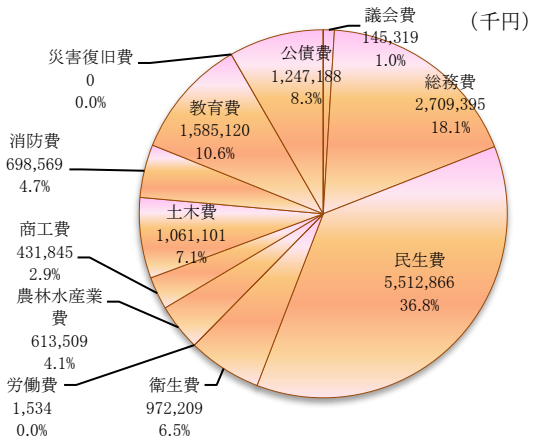
(1)一般会計

①歳入　16,036,065千円

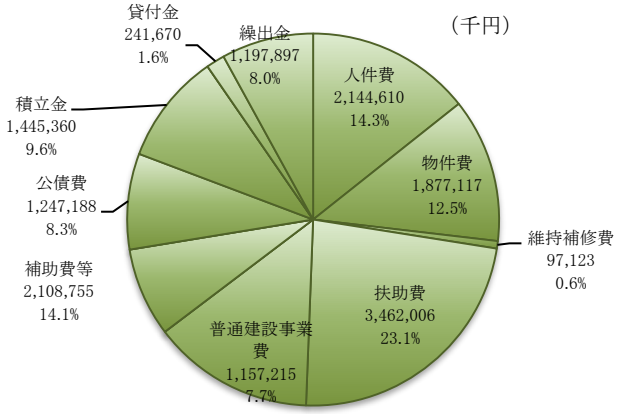


②歳出　14,978,941千円

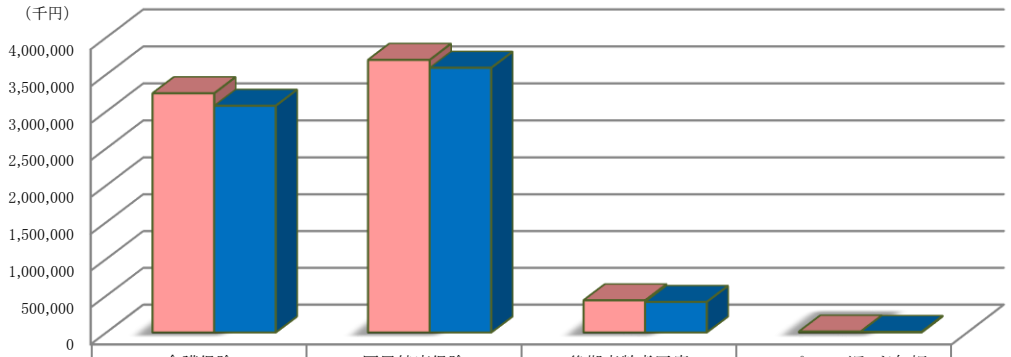
【目的別】



【性質別】

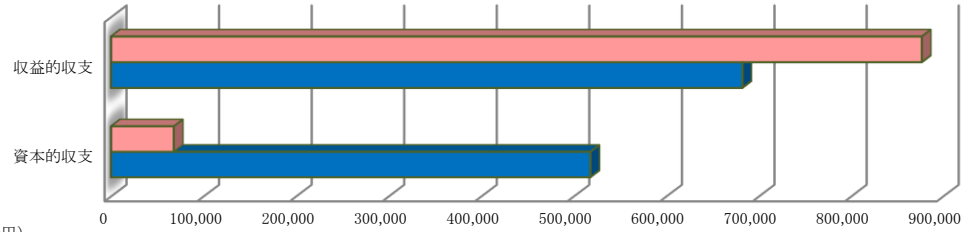


(2)特別会計



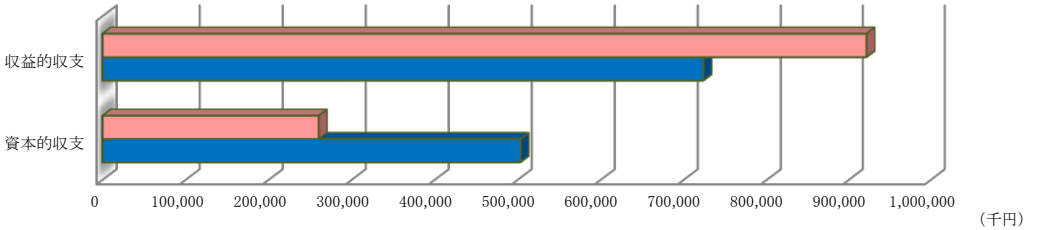
（千円）	介護保険	国民健康保険	後期高齢者医療	ハッピーハイランド矢板排水処理事業
歳入	3,244,263	3,695,934	436,312	11,838
歳出	3,075,850	3,588,263	415,017	7,507

(3)水道事業会計



（千円）	資本的収支	収益的収支
収入	67,625	876,541
支出	517,635	681,882

(4) 下水道事業会計

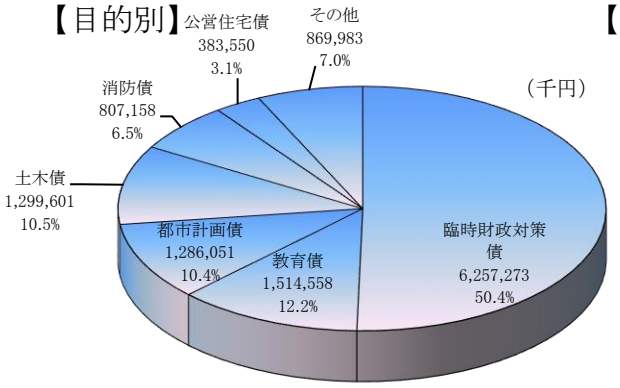


	資本的収支	収益的収支
収入	260,231	921,369
支出	503,091	723,495

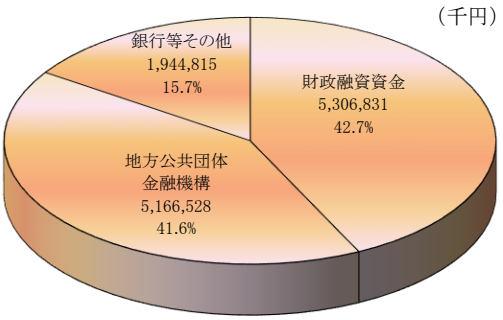
(5) 市債の残高

①一般会計

【目的別】

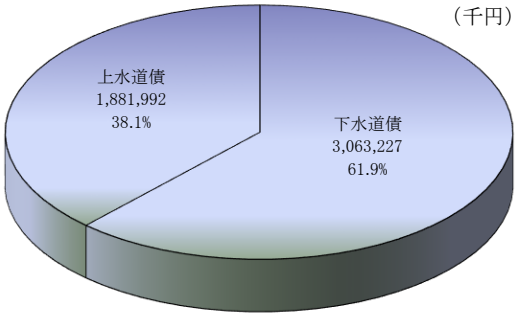


【借入先別】

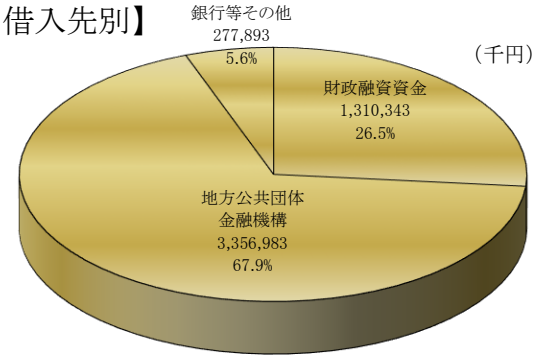


②地方公営企業

【目的別】

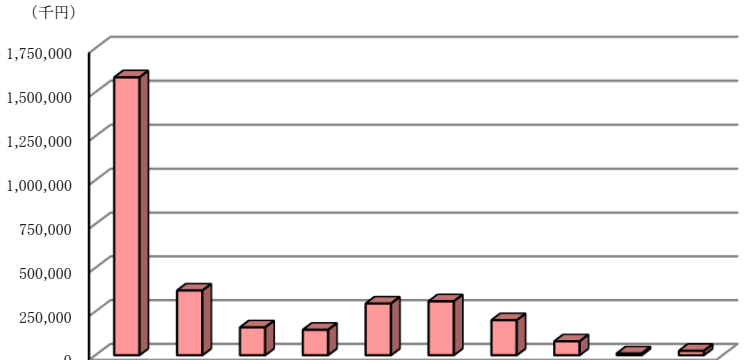


【借入先別】



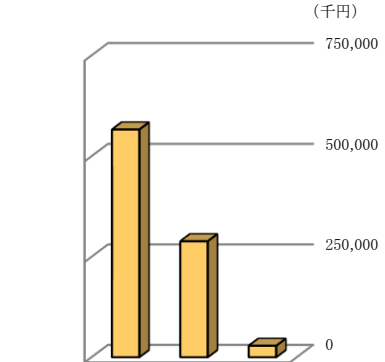
(6) 基金の残高

【一般会計】



（千円）	財政調整基金	減債基金	交通施設整備基金	土地開発基金	公共施設整備基金	ふるさと納税基金	庁舎等整備基金	子ども未来基金	未来の森づくり基金	その他基金
一般会計	1,584,229	369,783	159,422	145,332	295,255	308,072	200,178	79,504	10,468	25,010

【特別会計】



（千円）	介護財調基金	国保財調基金	その他基金
特別会計	566,198	288,681	28,357

矢板市の財政は大丈夫？？

6ページから7ページでは、令和3年度の決算状況をお知らせしました。しかし、これだけでは矢板市の財政が健全かどうかを判断することができません。

ここでは、財政状況を判断する手がかりとなる「健全化判断比率」について解説します。

健全化判断比率

「健全化判断比率」は、地方自治体の財政運営がどのような状況にあるのかを把握し、早い段階で健全化に向けた取り組みが必要かを判断するための指標です。

いずれかの指標で一定の基準を超えた場合、財政健全化のために計画をつくり、それに基づいた財政運営を行うことが法律※で義務付けられています。

※　地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成19年法律第94号）

地方公共団体の財政破たんを防ぐため、国が財政状況をより詳しく把握し、悪化した団体に対し早期に健全化を促すことを目的に制定されたもの

指標	矢板市の数値	国の定める基準		解説
	令和3年度決算	早期健全化基準（黄色信号）※1	財政再生基準（赤信号）※2	
実質赤字比率	- (-)	13.69%	20.00%	一般会計等(※3)の収入（※4）に対する赤字の割合。赤字の大きさを把握するための指標
連結実質赤字比率	- (-)	18.69%	30.00%	一般会計等、介護保険特別会計などの特別会計、水道事業会計などの企業会計を合わせた矢板市のすべての会計の収入に対する赤字の割合
実質公債費比率	8.8% (9.1%)	25.0%	35.0%	収入に対してどのくらい借金の返済に充てているかを示す割合。現時点での借金返済額が大きすぎないかを把握するための指標
将来負担比率	29.1% (50.2%)	350.0%		収入に対する実質的な負債（これから返済しなければならない借金など）の割合で、残高から貯金を引いた残りの額が年間収入の何%になるかを示したもの。将来返済しなければならない借金が大きすぎないか把握するための指標

○表中の「-」は、赤字が生じていないことを示す。（　　）は令和2年度決算の数値

※1　いずれかの指標でこの基準を超えた場合、自主的な改善努力を図るため、財政健全化計画を策定する。

※2　いずれかの指標でこの基準を超えた場合、国の関与による確実な再生を図るため、財政再生計画を策定する。

※3　「一般会計等」とは、一般会計と一部の特別会計（ハッピーハイランド矢板排水処理事業特別会計）を合わせたもの

※4　「収入」とは、地方公共団体で通常収入されると見込まれる経常的な一般財源の規模を示す「標準財政規模」を指す。

令和3年度決算に基づく矢板市の健全化判断比率は、いずれも国の定める早期健全化基準を下回っており、健全な財政状況にあると判断できます。

今後も引き続きこれらの指標を見据えた財政運営を行い、より一層の健全化を図っていきます。